



国際理解講演会①

10月9日(水)6限、全校生徒を対象に、株式会社IHI原動機の本田徹様より「国内及び海外陸用発電プラント建設の業務対応事例の紹介」をテーマに国際理解講演会をしていただきました。



【講演会の内容】

- ・業務用発電プラントの建て方
- ・パキスタン、バングラデシュ、ミャンマーでの発電プラントの建設
課題：電力不足による停電や計画停電 → 主要産業（紡績など）の工場が停止
解決：ODAや輸入による発電プラントの建設
結果：産業の発達 → 住民の生活の向上
- ・発電プラントの仕組み

【生徒の感想スキルアップシートより】

- ・映像でプラント建設の順番が解説してあり、わかりやすかった。この土地だとこんな感じでプランニングするなど考えることがあった。
- ・工業の海外進出の場は年々増加傾向にあり、需要も増えているので、英語などの対策も自分で行わないといけないことが分かった。
- ・パキスタンやバングラデシュ、ミャンマーや周りの国では電力不足がどこでもあるんだなと思った。人口や国が広い分、発電所を多く建てないと電力不足が続くんだなと思った。
- ・いろいろな（発電）機械に対し1つ1つ特徴があり、その時に応じて使い分けている。
- ・電気だけでなく、土木関係の知識なども得られた。様々な課題について聞いて、解決の難しさを知った。
- ・世界で仕事をしているのはすごいと思った。地図にのる仕事はやりがいがあると思う。
- ・IHI（新潟原動機）の話は2回目なので、振り返りながら話を聴いていた。
- ・日本で作った発電機等が様々な国で使われていて凄いと感じた。
- ・海外での発電プラントの建設がどのように生活に役立っているかが分かった。
- ・発電について考えたりすることはなかったが、初めて設置から知ることができてよかった。
- ・工場にある物やビルなどに使う発電を見たことはあったが、仕組みや詳細は全然知らなかったから、新しく覚えて、今後何かの役にたてばいいと思う。かなり機械らしくてカッコいいと思う。基礎知識を教えてもらえたからうれしい。

【職員の感想】 昨年度の講演会を振り返り、知識が増えてきたことを実感できたようです。海外での仕事もしだいに身近に感じられるようになり、グローバルな視点が育成されているように思います。